

## 主な行財政改革項目の進捗状況について

- ( 1 ) 公立保育所の民営化に向けた検討
- ( 2 ) 津市社会教育振興会への関与の見直し
- ( 3 ) 公立幼稚園の運営の見直し
- ( 4 ) 小中学校の活性化
- ( 5 ) 勤労青少年ホームの廃止
- ( 6 ) 下水道使用料の見直し
- ( 7 ) 出資・出捐団体に係る経営状況の把握

## 主な行財政改革項目の進捗状況について

	取組項目	平成 19 年度の取組概要	所管部課名
61	公立保育所の 民営化に向け た検討	<p>関係部局の職員による「津市公立保育所民営化検討会議」において、津・久居・河芸地域など、地域ごとに民営化の可能な地域を検討している。</p> <p>そのうち、津・久居地域については、公私保育所の配置状況を考慮して、更にエリアを細分化し、エリアには少なくとも1ヶ所の公立保育園を残す考えのもとに、民営化対象園の選定を進めていく。</p> <p>今後、外部の有識者による懇話会を設置し、民営化の実施方法等を定めた公立保育所民営化計画案を作成していく。</p> <p>取組概要</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 公立保育所民営化懇話会開催 民営化の実施方法等の考え方を示し、意見を聞く。</li> <li>2 公立保育所民営化懇話会開催（2月） 民営化の計画案を検討</li> <li>3 公立保育所民営化懇話会開催（3月） 民営化の計画案の作成</li> </ol>	健康福祉部こども家庭課
87	津市社会教育 振興会への関 与の見直し	<p>(財)津市社会教育振興会への関与の見直しについて検討した結果、(財)津市社会教育振興会の職員の体制及び財源確保が困難となっている状況等から、津市青少年野外活動センター施設の目指す目的を確保しつつ、設置趣旨である青少年事業の活性化や維持、発展を考える上で、財団を解散し市の責任において新たな施設利用についての方策を検討することとした。</p> <p>検討内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 財団の解散にかかる事務処理及び時期</li> <li>2 青少年野外活動センターの新たな活用についての基本的な視点</li> </ol> <p>市の直営によりこれまでの事業を継承する。</p>	教育委員会事務局生涯学習スポーツ課

		<p>現在の事業を見直すとともに、中南勢地域で唯一の青少年教育の拠点として、市内その他教育施設の活用を行うことにより、青少年健全育成や青少年教育の充実を図る。</p> <p>学校等との連携により、体験学習等を実施する。</p> <p>指定管理者制度を視野に入れた事業の見直し</p> <p>今後の取組予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後関係部局との検討、教育委員会内部での検討協議を進めていく。(11~12月)</li> <li>・財団の廃止については、教育委員会の具体的な方針を立てた中で理事会を開催してもらい決定してもらおう。(3月)</li> </ul>	
37	公立幼稚園の見直し	<p>一定園児数の確保による教育内容の充実を図る観点から、幼稚園・小中学校在り方検討委員会及び公立幼稚園運営に係る検討会議において、幼稚園の適正配置に向けた検討を行っている。</p> <p>その中では、緊急的な取組みとして、園児数9人未満の学年の有る小規模幼稚園の統廃合といった観点や、中学校区程度の区域を対象とした、あるべき姿の観点から、本年度末を目途に検討が行われている。</p> <p>今後、これらの検討結果を踏まえて、地域や保護者等との協議を行いながら、その実現に向けた取組を進めていく。</p> <p>取組概要</p> <p>1 幼稚園・小中学校在り方検討委員会及び公立幼稚園運営に係る検討会議における検討(平成19年5月~)</p> <p>主な検討項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各園の運営状況及び課題の把握</li> <li>・保護者ニーズの把握と諸課題の検討</li> <li>・幼稚園の適正規模・保育時間・預かり保育・幼稚園児の定数等</li> <li>・今後の園児数の推移</li> <li>・適正規模園配置案</li> </ul> <p>2 今後の取組予定</p>	教育委員会事務局教育研究支援課

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正規模園配置案の決定（平成20年3月）</li> <li>・適正規模園配置案に基づく取組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1段階 園児数9人未満の小規模幼稚園の統廃合（平成22年度～24年度予定）</li> <li>・第2段階 中学校区地域を視野に入れた園配置への移行</li> </ul> </li> </ul>	
38	小中学校の活性化	<p>一定児童数の確保による教育内容の充実を図る観点から、幼稚園・小中学校在り方検討委員会において、小学校の適正配置に向けた検討を行っている。</p> <p>その中では、緊急的な取組みとして、複式学級を有する小規模な小学校について、その地域における小学校のあるべき姿といった観点から、当該小学校の統廃合の要否も含めて、本年度末を目途に検討が行われている。</p> <p>今後、これらの検討結果を踏まえて、地域や保護者等との協議を行いながら、その実現に向けた取組を進めていく。</p> <p>取組概要</p> <p>1 幼稚園・小中学校在り方検討委員会における検討（平成19年5月～）</p> <p>主な検討項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者ニーズの把握と諸課題の検討</li> <li>・小学校の適正規模及び定数等</li> <li>・今後の児童数の推移</li> <li>・適正規模及び地域における小学校のあるべき姿</li> </ul> <p>2 今後の取組予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における懇談会の開催（平成19年7月より継続）（3地域＝芸濃、美里、美杉）</li> <li>・適正規模小学校配置案の決定</li> <li>・適正規模園配置案に基づく取組み 複式学級を有する小規模な小学校の統廃合（平成22年度～24年度予定）</li> </ul>	教育委員会事務局 教育研究支援課 学校教育課
63	勤労青少年ホームの廃止	施設の老朽化が著しく、また利用者等のニーズも変化していることから、勤労青少年ホームについて、廃止し	商工観光部 商工労政課

		<p>ます。</p> <p>なお、これまで勤労青少年ホームで行ってきた講座については、内容を精査し、市内既存施設の活用により開催します。</p> <p>取組概要</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 利用者への周知</li> <li>2 津市勤労青少年ホーム設置条例の廃止 (市議会第4回定例会上程予定)</li> </ol>	
144	下水道使用料の見直し	<p>平成18年度決算に基づく経費の分析と、使用料対象経費の精査を行い、その結果を基に、今後の経常収支見通しを推計すると、維持管理費を使用料で賄うことができると予測されることから、当面は現行の使用料を据え置くとともに、今後も水洗化率の向上や経費の節減等に努め、下水道経営の健全化を図っていきます。</p>	下水道部下水道管理課

86	出資・出捐団体に係る経営状況の把握	<p>本市が出資・出捐する団体について経営状況の健全化に向けた取組を進めるため、指針の作成のもと、定期的に経営状況の把握を図るとともに、改善が必要とされた団体については、健全化に向けた取組を求めている。</p> <p>取組状況</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 外郭団体に対する管理運営方針を作成</li> <li>2 統一した調査票により各所管において平成18年度の決算結果に基づく経営状況を把握していく。</li> <li>3 今後、毎年継続して経営状況を把握し、適宜、健全化に向けた取組を求めている。</li> </ol>	関係所管課
----	-------------------	--	-------